

柏市消費者教育推進連絡会つうしん NO.37

令和 7 年度第 2 回柏市消費者教育推進連絡会を開催

日 時：1 月 23 日 (金) 15:00～16:45 場所：柏市沼南庁舎 502 会議室
参加者：連絡会委員 9 名, 事務局 3 名 内容：消費者教育授業の実践報告



消費者教育授業実践報告

小学校

酒井根小学校 茂木先生 学年：6 学年 教科等：国語・他
(総合・理科・社会・家庭の教科横断的学習)

授業名：「わたしたちのくらしと消費」



座長の麻生指導課長

小学生にとって比較的身近な「キャッシュレス」「広告」「消費と社会」「ゲームソフト」をテーマにパネルディスカッション形式で行い、持続可能な消費生活について、考えを深めることができた。

中学校

柏の葉中学校 片岡先生 学年：3 学年 教科等：社会 (公民)

授業名：「消費生活と経済」

コンビニを長く愛される店にするために、どこに出店するか(病院内・大学構内・ガソリンスタンド内)を、消費者と経営者の視点から討議し、消費生活で気づいたことは何か、消費者にはどのような権利あるかを考えることができた。

酒井根中学校 古山先生 学年：3 学年 教科等：家庭

授業名：「日常食の調理と地域の食文化 持続可能な食生活を目指して」

食品ロスや規格外野菜の現状を知り、グループ討議をとおして、地球に優しい食生活のために自分たちができることは何か、また、柏市の三大野菜の規格外野菜の活用方法について考えを深めることができた。

松葉中学校 鈴木先生 学年：2 学年 教科等：道徳 (社会参画 公共の精神)

授業名：「まだ食べられるのに」

商品ロスが環境や経済や社会に影響を与えている現状を学び、周りに知ってもらうためのキャッチコピーを作成して、持続可能な社会の実現ために、今自分たちは何ができるかについて考えを深めることができた。



実践報告を行う委員

西原中学校 生田先生 学年：1 学年 教科等：家庭
授業名：「目的に応じた食品の選び方を考えよう」

家族人数や予算を設定し、食材購入の疑似体験を行う中で、表示（鮮度・産地・添加物・賞味期限）の意味について理解し、目的に応じて環境や安全に配慮した食品を選ぶ事の大切さについて考えを深めることができた。

高等学校

東葛飾高等学校 富永先生 学年：3 学年 教科等：家庭（美術と教科横断的学習）
授業名：「クッキー型から考える消費者の権利と責任」

美術の授業で作成したクッキー型を活用し、クッキー販売（商品名・ターゲット・価格・アピール文）を考え、「選ぶ基準」「価値の多様性」を再認識しながら、消費者の権利と責任について考えを深めることができた。

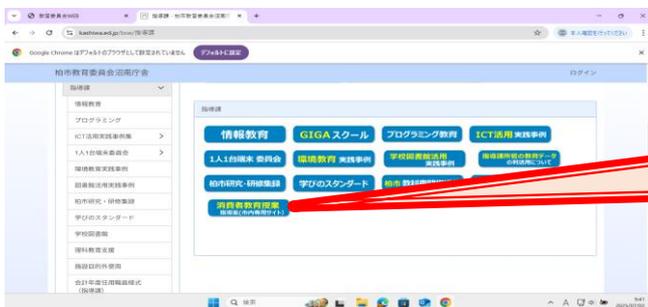
柏市立柏高等学校 土屋先生 学年：2 学年 教科等：美術
授業名：「宣伝するデザイン」を読み解く

消費生活情報に対する批判的思考力を身につけるため、SNS や動画サイトの広告から、トラブルの事案・隠れた情報・企業の現状を知り、そこにひそむ「美しさ」と「真実」を見抜く事の大切さについて考えを深めることができた。

座長より：消費者教育を推進するための2つの視点について、1つは、自立した消費者としての基礎知識を身につけること、もう1つは、児童生徒が主体的で対話的判断力と共に持続可能な社会への参画意識を高めていくこと。
今後も消費者教育を推進してほしい。

消費者教育授業づくりのための参考サイト

消費者教育推進連絡会の委員を務められた先生方が実践した授業資料を、指導課専用サイトに掲載しています。（令和6・7年度版も今年度中にアップ予定）



ぜひ、消費者教育授業実践の指導案を参考にしてください。

また、これまで同様、実践した消費者教育授業の資料も、柏市の消費者教育ポータルサイトに掲載しております。

詳しくは下記 URL か右側の二次元バーコードを参照してください。

<https://kashiwa.ed.jp/scenter>

